

全体朝礼 挨拶（人は、想いに生きる生き物）

皆さん、おはようございます。

例年よりも早い梅雨明けで、暑い日が続いております。先に表彰した溶接競技大会では、火花が飛ぶこともあり、競技者は長袖長ズボンに革手袋を使って8月の九州大会に出場します。暑い中ではありますが、「暑い、暑い」と1万回言ったところで涼しくはなりません。

いっそ「昨日よりは涼しいね」などと、ポジティブなことを言う方が、ネガティブなことを言うよりも聞いている方もバイタリティをもらいます。私もそうありたいと思います。

一学期も早いもので残すところ2週間ほどとなりました。これまでの3ヶ月でどのようなことを学習・体験して知識・技術を深めることができたでしょうか。

さて、本校生の進路先は7割が就職と、3年生のほとんどが新春以降、社会人として活躍しています。皆さんもご存じのとおり、7月1日から求人票の受付が進路室を中心に始まっていますが、人事担当者の方々は、ここ最近の日中35℃を超える中、額に汗をしながら求人票を遠くは関東から持参し、本校生からの応募をお願いしたい旨、お話しにいらっしゃいます。

これは、これまでの先輩方が先々の会社で熱心に活躍し、その信頼から隼工生のブランド化がされた結果であると考えています。皆さんにとっても、大変ありがたいことだと思うことでしょう。

また、先日は昭和51年卒の野球部員で現在も霧島市や始良市で会社経営などをされていらっしゃる先輩方10名から3名が代表して来校し、野球部の活躍を聞いて部員を物心両面から支えたいと、ボール13ダース、156球の寄贈を頂きましたし、ものづくりコンテスト溶接大会に27人で競ったコンテストで本校生が最優秀賞を獲得し、九州大会へ出場が決定すると同窓会から練習用の資材代にと寄付など、物やお金以上に「想い」を頂きました。

これらのことから分かるように、隼人工業高校の一員として、職員も生徒の皆さんも誇りに思うことでしょし、皆さんの活躍は、先輩・保護者にとっても大変な誇りです。

その様な中で、私たちが先輩方にできることは、皆さんからのいただいた想いに対して深い感謝と学校内外での振る舞いによってしか返せません。

一人一人が「もっと高みを目指せる」という自信をもって、「努力」と「思いやり」、「振る舞い」の積み重ねによって、人も学校も更に成長し、その想いに応えることができるのではないのでしょうか。

「人は、想いに生きる生き物」です。人の顔はそれぞれ違う様に、育った環境も価値観も同じという人は少ないです。「自分が楽しければ」といった自分中心の考えだけでは、人に迷惑をかけることもあると理解できると思います。

そこで「自分」も「相手」も「周りの人々」も幸せになる『三方善』の想いを一つにして協力し合えば、一人でもできなかったことも想いを掛け合わせて大きな力で達成に近づくことや、そのプロセスで得た生きるためのノウハウは、必ず皆さんの人生の礎となることでしょう。

最後に、今後の皆さんの更なる成長を期待して本日の挨拶といたします。